

電気BRT車両および観光型BRT車両の導入について

- 気仙沼線BRTに、環境負荷の小さい電気BRT車両を導入します。
- 気仙沼線BRTと大船渡線BRTに、乗って楽しい観光型BRT車両を導入します。
- 話題性のある車両の導入により、沿線活性化に貢献してまいります。

1. 電気BRT車両（気仙沼線BRT）

国土交通省「地域交通グリーン化事業」の支援を受け、環境負荷の小さい電気バスを1両導入します。

20kmを超えて電気で運行する定期路線バスの事例は少なく、営業運転を行いながら、将来の導入の可能性に向けて、様々な技術的課題の検証を行います。

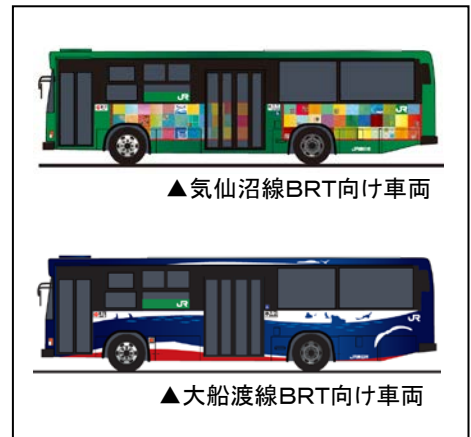


- (1) 運行区間 気仙沼線BRT・本吉～気仙沼間（21.5キロ）
- (2) 車両数 1両
- (3) 車両の概要 別紙1、2

2. 観光型BRT車両（気仙沼線・大船渡線BRT）

乗車することが目的となる「乗って楽しい」観光型BRT車両を2つのテーマで導入します。

旅行のお客さまはもとより、沿線の皆さまを含めた多くの皆さまにご乗車いただき、旅行需要創出の側面から、BRT沿線の復興を支援してまいります。



- (1) 運行区間 気仙沼線BRT・柳津～気仙沼間
大船渡線BRT・気仙沼～盛間
- (2) 車両数 各線1両、計2両
- (3) 車両の概要 別紙3

3 運行開始日及び運行ダイヤ等

・運行開始日及び運行ダイヤについては、別途お知らせします。

なお、電気BRT車両は、2月28日に納車、3月上旬から走行試験及び試運転等を行う予定です。

注意：2014年2月21日現在の情報を掲載しております。

電気BRT車両 概要

主な特徴

- 充電式リチウムイオン電池を搭載し、電気によりモーターを回転させて走行
（大容量電池により、気仙沼線BRT 本吉～気仙沼間22kmを1回の充電で走行します）
- 屋根上に太陽光パネルを設置し、車内照明やUSB充電用に使用
（車内にはモバイル充電用USBコンセントを設置）
- 災害時には100V電源の供給が可能なコンセントを装備
- 車上モニターを装備し、電気BRTの仕組みの紹介と走行状態を表示



外装デザイン

- ・BRTの赤、三陸の海の流れ、EVのイメージをグラフィカルに組み合わせて走りの流れを表現します。
- ・エコをイメージさせる緑色を差し色で表現し、EVであることを電池のデザインでシンボリックに表現します。

内装デザイン

- ・メインのシート地はエコをイメージした緑を採用します。
- ・メイン照明をLEDスポットライトとファイバーライトとし、天井に線と点で繊細さを演出します。
- ・サイドにLED間接照明を埋め込み、停車時に降車誘導灯として明かりの動きを表現し、EVを体感していただきます。



諸元表

項目	内容
定員	49名(運転士含む) (うち座席20席)
ベース車	いすゞ 中型路線バス エルガミオ 〔全長:8,990mm〕 〔全幅:2,295mm〕 〔全高:3,005mm〕
バッテリー容量	65.12kWh
バッテリー種類	リチウムイオン電池

電気BRT車両のしくみ

eBRT 「動力とエネルギー」



eBRTは電池でモーターを回し、車を走らせるBRTです。

eBRT 「電気はどこから？」



家庭の電気と同じように、発電所から送られた電気を車両の2カ所の電池に蓄えて走ります。

eBRT 「自ら生み出す電気」



屋根に積んだソーラーパネルと、ブレーキ等で発生するエネルギーを回生することで走行中も充電し、利用しています。

eBRT 「電池の容量」



eBRTの電池は小型家用電気自動車約2.5台分です。

観光型BRT車両 概要

主な特徴

- 大きな側窓と天窗により、大きな眺望を確保し、沿線の自然や街並みを体感
- 車窓が目の前に迫る窓向きシート、グループで楽しめるボックスシートなどユニークな座席配置
- 車内のモニターやパンフレットで車両の特徴や沿線の観光情報を紹介
- 運転席に設置したビューカメラで臨場感ある映像をモニターで放映
- BRT暫定運行開始時に導入した中古車両を活用

気仙沼線BRT《おでかけ「旅」》



外装デザイン

・山々の緑色を基調に、沿線で目に入る色に素材(魚や植物などの図柄)を組み入れパッチワーク柄にまとめ、ピクニックのような楽しさを感じていただく明るいカラーを表現します。

内装デザイン

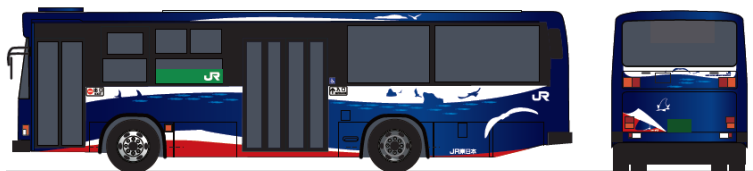
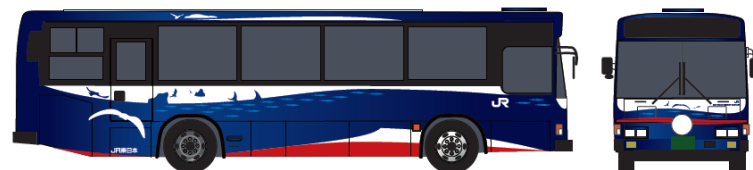
・車内の床は、緑を基調に芝生が広がる広場や公園をイメージ、ピクニックシートを広げたようなカラフルなデザインのシートデザイン。パーゴラ(木材で格子に組んだ植物用の棚)に見立てたシートを配置します。

外装デザイン

・三陸の海をイメージした濃い青色を基調に、白波を想像させる白色に加え、海沿いの岩や鳥、魚をモチーフに取り入れ、BRTの赤をアクセントカラーに加えます。

内装デザイン

・外装と同様に、海の青をベースカラーとし、海をイメージさせる岩や船、鳥や魚のデザインを取り入れたシートを配置します。



大船渡線BRT《三陸の「海」》